

小学校第4学年  
社会科

②④県内の文化財の保存や継承の取組  
—なら歴史芸術文化村の見学を通して—

学習のねらい

- 自分たちが住む奈良県には文化財が多数存在し、様々な場所で受け継がれ、地域の歴史を伝えるものであることを理解することができる。また、文化財の保存や継承に取り組んでいる地域の人々の努力があることを理解することができる。
- 文化財の保存や継承に関する問いを設け、博物館などにおける調査活動を通して調べたことや、人々の努力や願いについて考えたことを表現することができる。

郷土の資源について

なら歴史芸術文化村は、日本で初めてとなる文化財4分野（仏像等彫刻、絵画・書跡等、歴史的建造物、考古遺物）の修復作業現場が公開されており、普段見ることができない修復過程や技術、保存継承の意義等について解説案内をしている。

なら歴史芸術文化村の見学を通して、文化財の修復方法や修復に関わる人々の思いに触れ、文化財の歴史的な背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財の様子を捉え、人々の願いや努力について考えることができる。

学習指導要領上の位置付け

〔第4学年〕 2 内容  
(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて

学習の流れ

1. 県内の文化財の保存や継承について学習問題を設定し、資料等を使い調べる。 **3時間**
2. なら歴史芸術文化村の見学で、調べたいことをまとめる。【本時】 **1時間**
3. なら歴史芸術文化村で調査活動を行う。 **3時間**
4. 学習問題について調べたことをまとめ、振り返りを行う。 **2時間**

## 展開例（本時 4 / 9）

	学習活動	指導上の留意点（※評価規準）	備考
導入	○本時の活動を知る。	○社会見学で訪れる、なら歴史芸術文化村の施設の概要を紹介する。	なら歴史芸術文化村WEBページ
	なら歴史芸術文化村で調べたいことをまとめよう。		
展開	○これまで文化財の保存や継承について学習したことを振り返る。	○県内の文化財の保存や継承について、これまで学習した内容を振り返らせる。 ○ワークシートに書き込んだ内容を整理させる。	ワークシート
	○学習してさらに疑問に思ったことを出す。	○PC等の情報共有機能を用い、個人の疑問を学級全体で共有する。 ○予想される児童の反応 ・どのような技術を使って保存したのか。 ・いつから修復が始まったのか。 ・修復される前は、どのような状態であったのか。 ・修復するとき苦労したことは何か。 ・これから継承していく上で、課題となることは何か。	PC等
まとめ	○なら歴史芸術文化村で調べたいことをまとめる。	○なら歴史芸術文化村の見学につなげるために、次のような視点でまとめさせる。 ・修復の技術 ・保存することになった背景 ・保存に携わる人の願いや努力 ・今後の継承の見通し ※これまでに習得した知識を活用して、新たな疑問を見付け、まとめている。 ○次時の見学は、本時にまとめた疑問を解決するための調査活動であることを確認する。	ワークシート

### 発展的な学習の例

・総合的な学習の時間で、身近な地域の文化財について探究的な学習を行う際、社会科で習得した知識や技能を活用する。

### WEBページ

・なら歴史芸術文化村  
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>